

金槐和歌集助動詞索引

(歌の部)

鎌田良二

本稿の本文は日本古典文学大系29「山家集金槐和歌集」風巻景次郎 小島吉雄校注(岩波書店刊)による。

同書はその凡例に次のように記してある。

本書は貞享四年北村四郎兵衛板行の整板本を底本とし、藤原定家所伝本及び群書類従所収本を参照した。貞享四年板本を底本にしたのは、所収歌数が最も多いからである。

そして、校注については同書の三三四ページに記してある。

また、歌の番号について次のように記してある。

三列の番号のうち、上段は底本の歌の配列順位を示し、中段は統国歌大観の番号を、下段は定家所伝本の配列順位を示している。統国歌大観本は群書類従本と同じであるから、統国歌大観の番号はすなわち群書類従本の配列順位を示しているのである。

統国歌大観の番号は第二首目から上位三桁29の数字を省略し下位三桁の数字だけを記した。数字を欠いている欄があれば、その歌

が数字を欠く本には存在しないことを意味している。

本稿ではこの歌の番号をそのまま語の下に記したが、さらにその下の漢数字は歌の第何句であるかを示したものである。

日本古典文学大系で

3 028 7 山里に家あはずべし驚のなく初こゑのかまほしさに

とある歌の「べし」を示すには、まず見出しの語の「べし」は―線で示し、歌の第二句にあるから次のように記した。

家あはず― 3 028 7 二

見出し語の下の()内はその語の活用形である。(未)―未然形

(用)―連用形 (止)―終止形 (体)―連体形 (三)―已然形 (命)

―命令形

「らし」の項で()に入ったものは「けらし」の項と重複するものである。

△印は意義用法の異なるもの、または、連語としても認められるものなど注意を要するものである。

本稿は「金穂和歌集総索引」の一部としてここに掲載するものである。

助動詞だけをここにあげたのは本誌本号のページ数の関係、編集上の関係からである。索引は総索引であってこそはじめて役立つものであり、索引の一部を示しただけでは語相互の関係もわかりにくく、利用価値はいちじるしく減ずるものであることは充分承知のことではあるが、右の理由により今回はこれだけにとどめた。

本稿のもとになる総索引カード及び原稿作成は次の諸氏によるものである。

いずれも本年三月卒業の学生である。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 池田 園江 | 池田 美紀 | 岡本 聖子 |
| 奥田 和子 | 賀谷 陽子 | 川合幾久子 |
| 阪口 照美 | 瀬畑 千春 | 高井由美子 |
| 松田香魚子 | 松本美津子 | 丸山 京子 |
| 三好香寿子 | 村尾 真美 | 横田 育子 |
| 山本 篤子 | | |

カード製作は昭和四十五年九月から四十六年一月。カード整理と検討、原稿作成は四十五年度卒業生岡地和子氏が四十六年四月から四十七年二月まで丹念に検討しつつ作ってくれた。ここで総索引の原稿が完成したのである。

右の事情から本稿の作成は国語学研究グループということになるのであるが、責任上、鎌田の名にしておく。

本稿作成によって気付いた二、三について記す。

金穂和歌集では第五句が助動詞で終るもの、助動詞止めの歌は、全七一九首の中、二九〇首である。

即ち、助動詞止めの歌は全体の四〇、三%を占めるということである。

その内訳は次の通りである。

- | | |
|----------------|---------------|
| きー5 | ずー9 |
| しき
かー 1 1 5 | ねず
0 1 5 4 |
| けむー18 | けりー 85 |
| | けり
5 2555 |

じ 1 2

たまへ 1 1

つ 2 2

なり 1 36

なり 23 13

ぬ 1 10

ぬ 5 5

べらなり 3

べらなり 1 1

べらなり 1 1

べらなり 1 1

らし 1 10

けらし 4 4

らむ 50 50

らむ 0 0

べし 6 6

べし 3 3

へき 3 3

まほし 1 1

む 39 39

む 39 39

め 0 0

り 9 9

り 1 1

る 8 8

(なくに 3)

二

「古典語現代語助動詞詳説」松村明編(学燈社刊)の「らし」(吉田金彦氏担当)の欄に次のようにある。

「らし」の使用位相について。「らし」は歌語であって、「歌にのみ見えて散文にはをさをさ見えぬ。」(山田孝雄「平安朝文法史」)といわれ、奈良朝では比較的少なからず用いられたが「平安中期以後は和歌に於ては、らむ、に圧倒せられ散文に於ては新進の「めり」に勢を奪われ、らし、は甚しく衰頹した。」(松尾捨次郎「助動詞の研究」)ものである。松尾の「助動詞の研究」にはその使用数が詳しく載っているから参照されたい。ただ万葉と八代集などどどんな比率を示すかをわたしの(吉田氏)調査で出してみた。比率は終歌数に対する使用数の百分比である。

とある。この吉田氏の表に金槐和歌集の「らし」をつけ加えると次の表の通りである。

金槐和歌集では「らし」が多いことがわかる。また、「げらし」をつけ加えると次の通りである。

金槐和歌集で「らし」「+」げらし」とすると、三三三%となり、万葉集に次ぐ使用率となる。

	使用数	使用率
万葉	157	3.5
古今	12	1.1
後撰	10	0.7
拾遺	12	0.8
後拾遺	10	0.8
金葉	5	0.7
詞花	1	0.2
千載	5	0.3
新古今	6	0.3
山家集	2	0.1
金槐和歌集 (らし)	20	2.8
(らし)+(けらし)	24	3.3

三

「たり」と「り」について、同じく「古典語現代語助詞助動詞詳説」の「たり」の項(橋本四郎氏担当)に「り」が歌の中に用いられることが多いとあり、さらに次のような表がある。

中古作品における「たり」と「り」との使用状態を、それぞれの索引を通じてみる。

これに本稿の金槐和歌集を入れて比較してみよう。

	り	たり
古今(歌)	87	15
"(歌以外)	350	62
後撰(歌)	84	28
"(歌以外)	64	133
土佐日記	106	43
竹取物語	61	95
蜻蛉日記	98	777
枕草子	182	1540
源氏物語	3356	4293
業式部日記	90	319
更級日記	32	244
提中納言物語	64	181
古本説話集	45	484
金槐和歌集	52	14

右の表の通り。金槐集では、「り」の使用率が高いことは、古今集が「たり」対「り」の率が〇、一八に対し、金槐集では〇、二七という率になっている。

なお、「助詞助動詞詳説」の書では次のように述べている。

古今集や土佐日記では「り」のほうが多い。後撰集も歌では「り」が多いが、その他の部分では逆転し、ほかのものでは「たり」が多く、竹取、源氏以外では圧倒的優位に立っている。この差についてはさまざまな条件が支配しているから、早急に結論を引き出そうとするのは危険であるが、大勢としては「り」が衰える方向にあることが否定できないであろう。

と、この辺りにも、金槐和歌集の用語の特殊性が見出されるが、なお、「つ」「ぬ」との関係その他にもいろいろと問題が多いことと
 思うが、歌数の関係で今回はこれにとどめる。

いずれ総索引を出す機会を待って他の語との関係についても述べたいと思っている。

先に記した国語学研究グループの踏氏に感謝するとともに、本案引について大方の御高評を得たいと思っている。

き

き(止)

きかざり――	131	1
影も長けに――	127	5
なくて散りに――	115	2
雲隠れに――	265	5
おもひ初めて――	251	5
思ひ――や	377	5
やどはぶりに――	428	1
浅かり――とは	462	5
影となりに――	497	5
	611	5
	611	5
	673	5
	643	5
	662	5
	632	5
	468	5
	450	5
	441	5
	453	5
	462	5
	468	5
	497	5
	552	5
	611	5
	673	5
	662	5

し(体)

み――と語るな	693	5
占めおき――	602	5
咲――より	591	5
おもひ――ほどに		3
山にこもり――	6	1
思ひて来――を	26	1
来――われぞ	26	1
思ひ――程に	6	3
思――ほどに	6	3
さくと見――まに	6	3
見――ものを	6	3
雪は消に――	6	3
あだに散に――	6	3
咲と見――まに	6	3
見――ごともあらず	6	3
ながめこ――	6	3
夢かと思	6	3
をしみ来――	6	3
	133	1
	132	4
	126	1
	129	1
	113	1
	117	1
	550	1
	562	4
	133	4
	117	1
	99	2
	053	2
	33	2
	91	4
	101	4
	82	4
	86	2
	100	2
	81	2
	84	2
	098	2
	79	2
	78	3
	106	3
	87	3
	72	2
	103	2
	84	2
	71	2
	102	2
	83	2
	59	2
	079	2
	54	2
	58	3
	089	3
	70	3
	56	2
	075	2
	55	2
	50	2
	080	2
	60	2
	28	2
	058	2
	38	2
	26	1
	675	1
	5	1
	026	3

声きき——より	ほのかに見え——	おと聞き——より	降に——里の	木の葉ふりに——	ふりに——日より	木の葉朽に——	秋も暮に——	行ても見——が	あり——にもあらぬ	たへて——あとは	たのめこ——	ぬしはふりに——	きてぬぎかけ——	ふりに——里の	いつかと待——	世をのがれに——	跡は絶えに——	惜こ——	たち——ときより
459	437	412	391	333	318	315	313	278	262	250	216	215	205	193	190	185	175	142	
440	705	444	351	291	697	298	292	576	273	246	569	197	196	266	181	567	176	168	
428		432	339	277	279	285	278	564	573	231	557	181	180	251	165	552	160	152	
四	四	四	四	二	二	二	二	二	四	二	一	四	二	四	二	二	三	二	

見——よはよそに	月になれに——	見——面影を	住みこ——浦を	たのめ——人は	旅をゆき——	宿は朽に——	たのめて——宿は	尋ねこ——かな	別に——	きてもたちに——	しのび——秋の	いひ——ばかりの	ほに出——秋も	あり——むかしの	馴れ——むかしの	月は見——よの	松とせ——まに	かれ——より	わびに——ものを
610	609	609	608	606	596	555	554	551	546	544	531	521	508	497	496	496	493	488	
728	435	435	727	438	647	478	479	477	483	418	719	431	427	462	461	469	715	491	
	423	423	426	636	466	467	465	471	406	406	419	415	450	449	449	477		479	
二	四	二	四	二	一	二	二	四	一	四	四	四	四	二	四	二	二	三	

あり—名残の

馴れ—たぶさの

いひけら—

かけ—心は

袖のふれに—

見—世の事を

有—むかしの

ふりに—里に

しか(巳)

年にはあり—ど

夏は暮れ—

秋ふけ—ば

けり

けり(止)

春は来に—

春は来に—

立ちもちに—

春はきに—

ほころびに—

梅咲に—

宿は荒れに—

咲に—

萌出に—

たなびきに—

咲きに—

咲に—

ちりに—

散に—

散に—

あるじなり—

恋ひわびに—

すみれつみ—

吹に—

うつろひに—

夏も暮に—

秋は来に—

秋はきに—

秋は来に—

21	12	10	7	1	28022	1	五
047	042	041	024	3			五
27	22	21	3				五
五	二	五	五				五

169	186	185	184	175	135	116	108	107	89	81	72	71	69	51	44	42	38	30	25
174	175	176	173	168	135	121	062	064	109	112	103	102	093	065	039	045	034	051	056
158	159	160	157	152	119	105	42	44	90	93	84	83	74	45	19	25	13	31	36
五	五	五	二	五	五	三	五	二	五	三	三	三	一	三	五	五	三	二	三

冬は来に	冬は来に	冬はきに	うかり	色づきに	色づきに	もみぢしに	いろづきに	色づきに	紅葉しに	時雨ふりに	深に	月はすみ	更に	成に	なかり	なりに	しをれあひに	そばちに	秋も来に
315	313	312	310	302	301	300	299	298	297	295	292	277	270	267	264	231	208	203	193
298	292	289	282	275	275	279	278	277	280	281	271	575	259	219	201	220	193	195	181
285	279	275	267	261	260	264	263	262	265	266	256	563	244	203	185	204	177	179	165
五	五	五	三	五	五	五	五	五	五	五	三	五	三	三	三	三	五	二	五

我身也	色のかはるなり	色に出に	身にはしみ	月は出に	佗しかり	なりに	春に会に	年は経に	暮に	雪ふりに	更に	影はすみ	こほりしに	水しに	水しに	冬は来に	かれに	かれに	冬は来に
543	536	532	527	520	505	492	478	450	384	370	346	339	335	334	331	329	328	327	316
500	475	422		718	467	490	459	446	501	334	316	318	315	319	314	299	300	301	580
468	463	410			455	478	447	434	469	322	304	306	303	307	302	287	288	289	568
五	五	五	五	五	五	三	五	五	三	五	一	五	五	五	五	五	三	三	五

我はきに	老に	咲に	かざしなり	よゝは経に	年老いず	しるしなり	あれはなり	むべもいひ	ふりに	ふりに	影はすみ	しづくなり	かりは来に	雁は来に	雪ふりに	泪なり	わびしかり	傾きに	荒に
703	691	670	669	667	655	643	642	641	632	630	625	613	606	605	584	578	564	559	554
604	601	376	375	738	373	654	655	653	730	600	360	661	438	437	543	532	524	430	479
593	590	364	363		361	643	644	642	572	569	368	650	426	425	531	520	512	418	467
五	三	三	五	四	五	五	五	五	三	三	五	五	五	五	五	五	五	五	一

身にぞしみ	露も置き	たちに	来に	夏には有	暮れに	荒れに	花ぞちり	散に	花ぞ散	雪ぞふり	花もちり	花にぞ有	日数へに	春は経に	宿直せり	さむる待	しるくぞあり	雪ぞふり	ける(体)
266	214	192	187	133	126	99	92	91	85	82	75	65	58	57	45	34	23	19	
218	207	160	177	133	129	053	092	101	097	095	091	557	089	087	083	036	038	029	
202	191	164	161	117	113	33	73	82	78	76	72	545	70	68	63	15	18	8	
五	五	五	二	五	五	三	五	四	五	五	五	五	五	五	五	四	五	五	

よるを待	更に—かな	移ろひに	佗しかり	冬ぞきに	霜ぞおき	霜ぞ置	とはずぞあり	霜ぞおき	やどり	霜ぞおき	あり—ものを	露にぞ有	残り	おきに—かな	ふりに	露ぞおき	空にぞ有	暮れに—かな	あれば有
269	271	294	305	314	330	342	411	424	522	424	598	612	618	629	645	687	700	701	713
578	225	294	287	696	311	321	443	420	434	634	635	642	668	322	665	613	644	645	622
566	210		273	286	299	309	431	408	422	623	624	631	657	310	654	602	623	634	611
五	五	五	五	五	五	五	五	五	三	五	二	五	三	五	一	五	五	五	二

夢にぞ有	けれ(己)	名にこそ有	世にこそ有	霜にむすび	名こそ惜	世にこそ有	世にこそ有	けらし	きに	返え	しげりに	いひ	けむ	引かずやあり	ちらばさし
715		88	136	332	544	616	716	けらし	183	393	510	642	けむ	9	46
624		110	665	312	418	670	623		172	588	486	655		549	084
613		91	300		406	659	612		156	577	474	644		537	64
五		五	三	五	五	五	五		三	三	二	三		五	二

誰か染め	契りおき	跡をたれ	神さびに	種はまき	すみはじめ	きつつなれ	きつつなれ	何といひ	契	むつれそめ	たのめおき	霜や置	ふりに	月はすみ	いく夜おき	たちに	露か置き	誰か引	山に入り
668	669	647	631	630	619	615	614	598	556	453	431	343	297	275	361	235	221	162	49
377	734	653	666	600	667	659	660	635	571	711	706	392	260	572	245	250	570	149	079
385		647	655	569	657	648	649	624	559			290	265	560	229	235	558	133	59
五	五	五	五	五	五	五	五	五	一	五	五	五	三	五	五	五	五	五	二

人もあら	物は思は	待た	色にはいで	まつとは待た	音にはたて	わが名は立た	知ら	すゑ	折らでは過	分	をらではゆか	見しごと	年か経に
590	561	520	501	474	467	435	410	398	217	213	110	99	691
540	721	718	716	442	451	707	492	362	211	203	134	053	601
528				430	439		460	350	195	187	108	33	560
三	五	二	四	四	二	二	四	二	三	二	四	二	五

す(用・止)

待すしもあら—	141	138	122	五
待—しもあらず	141	138	122	五
見れどもあか—	118	682	102	二
見しこともあら—	99	053	33	二
よしや見—	74	088	69	四
あか—も有かな	48	078	58	五
露もまだひ—	16	048	28	二
引か—やありけむ	9	549	537	五
野辺とも見え—	6	026	5	四

す

絶え—とは思へば	675	391	369	五
我世も尽き—	675	391	369	三
我代はつき—	674	362	370	二
見るとも飽か—	673	379	367	二
なほしも尽き—	658	371	359	二
色はかはら—	644	378	366	五
絶え—とぞ思ふ	622	367	355	五
濡るるにはあら—	612	642	631	三

きけどもあか—	159	197	141	二
鳴か—もあらなむ	197	185	169	五
問へどこたへ—	215	196	160	四
宿と知ら—や	216	197	181	五
はなにあか—と	241	210	194	四
たえ—聞きつる	246	248	233	四
置か—もあらなむ	255	273	258	五
おほえ—おつる	272	226	211	二
ほしもあへ—	293	270	255	三
尽き—のみ	304	286	272	三
それとも見え—	360	323	311	二
足たた—して	365	587	576	五
とりもあへ—	399	360	348	一
とは—ぞありける	411	443	431	五
なりもなら—も	414	584	552	四
いざ知ら—	441	503	491	三
妹にあは—て	441	503	491	四
いは—とも	465	423	411	三
いは—とも	466	518	506	三
人しれ—	474	442	430	一

しら——とも	問は——ともよし	思は——今も	止ま——かよはむ	夢さへ見え——	ほに出——しも	行あは——して	おきあへ——色の	晴れ——もの思ふ	さやには見え——	おぼえ——月ぞ	すそあは——して	今朝たづね——ば	ほにはいで——	命もしら——	行きあは——して	限りしら——も	しかもたえ——や	身をしたえ——ば	逢ふよもあら——
636	635	611	586	565	563	545	536	528	524	522	514	507	500	494	493	483	482	481	460
590	663	643	545	722	394	488	475	410	434	434	463	424	391		489	510	514	513	517
576	652	632	533		382	476	463	398	421	422	451	412	379		477	498	502	501	505
三	五	四	五	五	四	五	四	四	二	二	五	二	三	二	五	五	四	五	四

君がきまさ——	知るもしら——も	ほしあへ——露の	春ともしら——	ぬ(体)	きか——き	さ(用)	とどまら——	知ら——いく世の	かた知ら——	絶え——涙の	古り——して	古り——も有なむ	色もかはら——	色はかくれ——	かぎりは知ら——	年老い——けり	なきにもあら——	あるにもあら——
28	25	22	5		131		717	691	688	687	678	677	665	664	659	655	653	653
058	056	032	025		127		619	601	612	613	739	374	736	735	369	373	625	625
38	36	11	4		111		608	590	601	602		362			357	361	614	614
五	四	四	四		一		三	四	三	四	三	五	四	五	二	五	五	四

心もたへ——	消あへ——露の	人だにとば——	なか——日ぞなき	風たた——まに	うつろは——に	思ひもかけ——	声もをしま——	露もまだひ——	なか——日ぞなき	ゆか——日ぞなき	むかしわすれ——	うつろは——まに	行へもしら——	人もすさめ——	風たた——まに	なごか来なか——	わか——まで	むかしわすれ——
263	261	250	242	218	204	172	170	153	142	114	112	111	108	73	71	38	37	31
238	245	569	209	213	205	167	165	152	136	115	125	126	062	089	102	034	033	052
223	230	557	193	197	189	151	149	136	120	97	109	110	42	67	83	13	12	32
二	四	二	五	五	三	二	五	二	五	五	四	五	二	二	五	五	三	四

くち——おもひぞ	ふか——日はなし	せきあへ——袖を	まだ見——人に	ねが——日はなし	たつきも知ら——	心もしら——	心にあら——	行くへさだめ——	ゆくへも知ら——	それかあら——か	それかあら——か	物思は——	ふみみ——さきに	けふともしら——	たのめ——宿の	袖にしられ——	きへあへ——程に	ふら——夜も	ありしにもあら——
494	488	472	454	452	440	439	434	432	429	428	427	424	416	390	384	342	331	324	273
	715	447	404	509	414	709	496	416	519	389	705	420	388	350	501	321	314	290	573
		435	392	497	402		484	404	507	377		408	376	338	489	309	302	276	561
五	五	四	四	五	二	四	四	四	四	二	五	一	四	二	四	四	四	一	五

まだ見——月に	たのめ——うはの	今朝はいまだこ——	見えわか——	なれ——植生の	しら——野原の	野辺わけ——	ならば——野辺の	なか——夜ぞなき	命もしら——	あら——我身の	泪にもあら——	裾あは——つまに	数なら——	たのめ——山も	たのめ——人の	こ——人をのみ	米——人を	人こ——宿の	春やあら——
633	605	596	592	581	579	574	573	560	542	536	532	527	523	521	518	517	516	507	496
579	437	647	651	538	533	528	527	429	499	494	422		432	431	470	469	465	424	461
567	425	636	640	526	521	516	515	417	487	482	410		420	419	458	457	453	412	449
四	二	四	三	二	四	一	二	五	四	二	二	二	一	二	二	四	一	四	一

穂にしあら——ば	行へしら——ば	(こそ)ゆくへもしら——	音こそたて——	人こそ知ら——	妹にしあは——ば	色は見え——ど	人こそ知ら——	かげこそ見え——	影こそ見え——	人こそ汲ま——	目にこそ見え——	幾日もあえ——ど	あるじなら——ば	ならひなら——ば	ふけど吹か——ど	ね(三)	物いは——	夢ともしら——	人もかよは——
499	498	473	450	438	433	423	409	338	336	277	149	135	63	29	23		718	712	646
426	407	473	446	366	497	421	505	352	353	575	141	135	082	057	038		618	621	605
414	395	511	434	374	485	409	493	340	341	583	125	119	62	37	18		607	610	594
四	五	499	四	四	五	五	四	四	四	四	四	二	五	五	二		一	二	五
		二																	

暗れしやら—ば 524

目にし見え—ば 433

目にこそ見え— 380

めにし見え—ば 409

影し見え—ば 397

人こそ訪は— 468

いこそ寝られ— 513

いは—ども 627

あら—ども 612

に(否定用)

しのびもかね— 260

たり

たら(未)

おき—ば 478

たる(体)

そめてかけ— 443

務た—らし 234

波にたけ— 260

あれ—宿に 229

さえ—夜半に 308

枯れ—野べに 287

風に浮き— 404

流れ出— 502

さしもあれ— 485

神のかけ— 312

破れ—みずに 654

たきすさび— 569

おき—露の 603

たまへ

たまへ(命)

雨やめ— 619

て

て(用)

たへ—しあとほ 263

おもひ初め—き 462

なら(未)

なり

手向	たえず聞き	あり	手向	さまし	尋ねてき	わすれかね	山下たぎ	閉ぢ	秋の来	被すて	ぬぎかへ	この日暮し	花に暮らし	たのめ
—	—	が	かな	—	—	—	—	らむ	—	—	—	—	—	し宿は
621	246	210	178	139	85	459	449	336	190	179	133	95	54	554
366	248	204	565	139	097	440	455	353	567	566	133	085	068	479
354	233	188	553	123	78	428	443	341	555	554	117	679	48	467
三	四	三	五	五	二	五	五	三	五	五	三	65 五	二	二

つる(体)

つ(止)

鳴ていつ

蛙なく

かはづなく

かをる

かはづなく

あるじ

音す

かほる

假

なり(用止)

松

数

誰

露

雪

つみ

あるじ

旅

ならひ

145	138	117	104	94	89	76	35	8
160	147	681	076	113	109	090	676	548
144	131	56	95	90	71	16	536	
五	五	二	三	五	四	三	三	三

692	523	508	505	393	392	63	60	29
599	432	427	467	588	358	082	072	057
588	420	415	455	577	346	62	52	37
五	一	五	三	五	三	五	五	五

うづら鳴	我身	かはる	かたに鳴	千鳥鳴	千鳥なく	千鳥なく	千鳥なく	千鳥鳴	夜半に鳴	千鳥鳴く	いまさかり	衣うつ	衣うつ	月に鳴	かをる	空に鳴	鳴わたる	あけてすぐ	なきて出	かげに鳴
556	543	536	429	357	356	355	354	352	351	321	289	287	252	161	157	155	152	151	150	
571	500	475	519	399	310	308	306	328	303	293	262	260	224	156	154	142	151	144	143	
559	488	463	507	297	298	256	294	316	291	280	247	245	208	140	138	126	135	128	127	
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	三	五	五	五	五	五	五

なる(体)

鹿ぞ鳴	鹿ぞなく	鹿ぞ鳴	雁ぞなく	たづぞ鳴	露ぞおく	鳴	鳴	奈良の山	民のなげき	雁ぞ鳴	世	かざし	しるし	あれば	なきとよむ	千鳥なく	泪
237	236	235	226	199	187	170	158	105	719	705	680	669	643	642	638	633	578
252	251	250	235	187	177	165	145	061	630	632	674	375	654	655	158	579	532
237	236	235	220	171	161	149	129	41	619	621	663	363	643	644	142	567	520
五	五	二	五	五	五	二	四	二	三	五	三	五	五	五	五	五	五

に(用)

春は来—けり	7	034	3	5	海はあせ—む	680	674	663	二	古すも有—む	677	374	362	五	遠ざかり—む	569	723		四	聞き渡り—む	541	384	372	五	穂にや出—む	533	393	381	五	きえは消—で(連語)	525	507	424	405	二	消え—まし(連語)	507	502	412	一	恋ひわたり—む	482	514	502	五	朽ちやはて—む	471	402	390	五	啼きわたり—む	435	495	483	五	恋渡り—む	420	704		五	今夜明け—ば	404	364	352	二	共に消—なむ	392	358	346	五	年やくれ—む	337	354	342	五	独やね—む	267	219	203	四	独や寝—む	231	220	204	四
--------	---	-----	---	---	--------	-----	-----	-----	---	--------	-----	-----	-----	---	--------	-----	-----	--	---	--------	-----	-----	-----	---	--------	-----	-----	-----	---	------------	-----	-----	-----	-----	---	-----------	-----	-----	-----	---	---------	-----	-----	-----	---	---------	-----	-----	-----	---	---------	-----	-----	-----	---	-------	-----	-----	--	---	--------	-----	-----	-----	---	--------	-----	-----	-----	---	--------	-----	-----	-----	---	-------	-----	-----	-----	---	-------	-----	-----	-----	---

荒れ—ける	99	053	33	三	散—けるかな	91	101	82	五	あだに散—し	86	100	81	二	雪は消—し	84	098	79	二	散—けり	81	112	93	三	散—けり	72	103	84	三	ちり—けり	71	102	83	三	咲—けり	69	093	74	一	日数へ—ける	58	089	70	五	春は経—ける	57	087	68	五	咲き—けり	51	065	45	三	たなびき—けり	44	039	19	四	萌出—けり	42	045	25	四	咲—けり	38	034	13	三	宿は荒れ—けり	30	051	31	二	咲—けり	25	056	36	三	ほころび—けり	21	047	27	五	春は来—けり	12	042	22	二	立みち—けり	10	041	21	五
-------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---	-------	----	-----	----	---	------	----	-----	----	---	------	----	-----	----	---	-------	----	-----	----	---	------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---	-------	----	-----	----	---	---------	----	-----	----	---	-------	----	-----	----	---	------	----	-----	----	---	---------	----	-----	----	---	------	----	-----	----	---	---------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---	--------	----	-----	----	---

ぬしはふり——し	しをれあひ——けり	ふり——し里の	なくて散り——き	そほち——けりな	秋も来——けり	世をのがれ——し	秋は来——けり	来——けるものを	秋は来——けり	秋はき——けり	秋は来——けり	跡は絶え——し	秋は来——けり	き——けらし	夏も暮——けり	うつろひ——けり	影も長け——き	暮れ——けるかな	吹——けり	恋ひわび——けり
216	206	205	205	203	193	190	189	187	186	185	185	184	183	175	135	128	126	116	107	
197	193	266	266	195	181	567	174	177	175	176	176	173	172	168	135	131	129	121	064	
181	177	251	251	179	165	555	158	161	159	160	160	157	156	152	119	115	113	105	44	
四	五	四	二	二	五	二	五	二	五	五	五	二	二	三	五	五	五	三	二	

冬は——来けり	木の葉朽——し	冬ぞ来——ける	冬は来——けり	秋も暮——し	冬はき——けり	色づき——けり	色づき——けり	もみじし——けり	いろづき——けり	色づき——けり	紅葉し——けり	ふり——けむ	移ろひ——ける	深——けり	更——けるかな	更——けり	成——けり	たち——けむかも	なり——けり
315	315	314	313	313	312	302	301	300	299	298	297	294	292	271	270	267	235	231	
298	298	696	292	292	289	276	275	279	278	277	280	280	294	271	225	259	219	250	
285	285	266	278	278	275	261	260	264	263	262	265	265	256	210	244	203	235	204	
五	二	五	五	二	五	五	五	五	五	五	五	三	五	三	五	三	三	五	三

なり——けり	わび——しものを	春に会——けり	年は経——けり	雲隠れ——き	降——し里の	君——あれば	暮——けり	雪ふり——けり	更——けり	こほり——けり	氷し——けり	氷し——けり	冬は来——けり	かれ——けり	かれ——けり	江——しあれば	木の葉ふり——し	ふり——し日より	冬は来——けり
492	487	479	450	428	391	386	384	370	346	335	334	331	329	328	327	325	323	318	316
490	491	459	446	389	351	701	501	334	316	315	319	314	299	300	301	284	291	697	580
478	479	447	434	377	339		469	322	304	303	307	302	287	288	289	269	277	279	568
三	二	五	五	五	四	三	三	五	一	五	四	四	四	三	三	三	二	二	五

かりは来——けり	雁は来——けり	音——や鳴かなむ	立みち——つつ	雪ふり——けり	旅——しあれば	旅——しあれば	傾き——けり	宿は朽——し	荒——けり	やどはふり——き	別——し	間遠——なりぬ	きてもたち——し	色に出——けり	泪——もあらぬ	月は出——けり	しげり——けらし	穂——しあらねば
606	605	604	592	584	566	565	559	555	554	552	546	545	544	532	532	520	510	499
438	437	641	651	543	525	722	430	478	479	480	483	488	418	422	422	718	486	426
426	425	630	640	531	513		418	466	467	468	471	476	406	410	410		474	414
五	五	五	五	五	二	二	五	二	一	五	一	四	四	五	二	五	二	四

ふり——しりに	暮れ——けるかな	年か経——けむ	老——けり	影となり——き	咲——けり	よよは経——けり	袖のふれ——し	影——やあれや	たたか——しあれや	ふり——ける	四手——ぞ有らし	すぎ——しことは	ふり——けり	神さび——けむ	ふり——けり	おき——けるかな	濡るる——はあらじ	月になれ——し
703	701	691	691	681	670	667	667	653	646	645	637	635	632	631	630	629	612	609
604	645	601	601	673	376	738	738	625	605	665	324	663	730	686	600	322	642	435
593	634	560	590	662	364			614	594	654	312	652	572	655	583	310	642	423
四	五	五	三	五	三	四	二	三	四	一	五	四	三	五	三	五	二	四

ぬ(止)

月かたぶき——	涼しくなり——	河瀬に暮れ——	さよふけ——らし	日数へ——べき	とはれで暮——	流れて消え——	成——べらなる	里はあれ——	日かずへ——べし	長居し——べし	けふ越え暮れ——	にほひき——	とげ——らむ	ふり——らむ	立——らし	世——し有ば	世——しあれば	我はき——けり
201	188	176	147	140	88	79	70	64	59	56	55	33	22	9	2	713	712	703
189	692	169	687	137	110	105	111	081	079	075	069	037	032	549	023	623	621	604
173		153		121	91	86	92	61	54	55	49	17	11	537	2	611	610	593
五	二	二	二	五	二	四	五	一	五	五	二	三	三	三	三	三	三	五

成——べき	たとひ消——とも	露ぞ消——べき	声もきこえ——	過し来——	幾夜へ——らむ	しきりて吹き——	夜や更——らむ	袖も氷——	秋は去——	散しき——	うつろひ——	ほのかになり——	暮——と思ふを	月かたぶき——	年もへ——	しのぎ来——らむ	月かたぶき——	夜はふけ——らし	たまればきえ——
447	430	421	418	396	358	350	341	333	312	309	303	306	303	282	274	233	230	230	218
457	399	419	436	593	582	699	304	313	289	283	269	274	695	231	255	240	233	233	213
445	387	407	424	582	570		292	301	275	268	254	259	271	216	240	225	218	218	197
三	四	五	五	三	五	五	五	二	一	三	三	二	二	五	三	五	五	二	四

越——とも	たづ——ばかりぞ	さえわび——	絶え——とも	越わび——	年のへ——らむ	間道に成——	身はうらぶれ——	ねに鳴——べし	月は出——	なりやし——らむ	忍き——	年もへ——	秋か経——らむ	年もへ——	年の経——らむ	年をへ——らむ	年をへ——らむ	ふり——とも	もらし侘——
602	601	587	586	585	550	545	544	539	521	516	515	514	510	493	492	491	490	456	451
636	638	541	545	544	487	488	418	439	431	465	464	463	486	489	490	515	516	452	449
625	627	529	593	532	475	476	406	427	419	453	425	451	474	477	478	503	504	440	437
三	五	三	三	三	五	四	二	五	三	五	三	三	五	三	五	五	五	三	一

おどろかれ	そばち	暮	春のくれ	泡となり	月ぞ馴れ	そばち	このね	あかでちり	ぬる(体)	咲ては散り	成	朽やし	なり	朽	荒	年も経	年か経	幾世へ	成
—	—かな	—	—	—	—	—哉	—	—		—	—と思へば	—らむ	—らむ	—へき	—といふものを	—	—らむ	—らむ	—とも
132	120	111	96	78	62	53	35	27		708	704	702	694	692	689	663	659	632	610
562	116	126	680	106	071	067	676	059		561	577	603	597	599	611	734	369	730	728
550	98	110	94	87	51	47	16	39		549	565	592	586	588	600		357	572	
二	五	二	五	五	五	五	一	四		四	五	五	三	三	五	三	五	四	三

家はす	べし(止)																			
—	—			老いど	ふりど	老ば	夜頃へば	なりば	散りば	成ば	春し来ば	春のきば	ぬれ(三)	ほにぞ出	共に泣き	老けにや	待夜ふけ	秋ぞ暮	月は入	
3			665	558	395	272	114	89	44	11	10			562	406	394	332	311	151	
028			736	398	591	226	115	109	039	040	041			395	361	592	312	288	144	
7				386	580	211	97	90	19	20	21			383	349	581	300	274	128	
二			三	三	一	五	三	一	三	二	二			五	四	二	四	五	二	

べらなる(体)	まよふ—	べらなり(止)	驚く—に	類—身か	朽ぬ—	世をそむく—	君ぞ見る—	萬代経—	防ふ—ものと	ある—ものを	成ぬ—	露ぞ消ぬ—	日数へぬ—	散り残る—	へき(体)	ねに鳴ぬ—	やどりはす—	日かずへぬ—	長居しぬ—
440		716	712	692	688	671	669	553	453	447	421	140	125	539	60	59	56		
414		623	621	599	612	365	375	481	711	457	419	137	128	439	072	079	075		
402		612	610	588	601	353	363	469		445	407	121	112	427	52	54	55		
五		二	五	三	二	五	四	四	二	三	五	五	四	五	二	五	五		

まほし(止)	まほし	まじき(体)	年退く—	いば—物を	消えな—	あら—ものを	訪は—ものを	まし(止)	散ら—も借し	まく	まく	まく	べらなれ(已)	成ぬ—
			397	600	507	426	90		36				407	70
			594	637	424	493	108		049				595	111
			583	626	412	481	89		29				584	92
			四	五	一	二	五		五				五	五

ふたり寝—— 414
564
552
五

む

む(止・体)

若菜つま——と

6

026

5

二

花かとみえ——

20

550

538

二

むかしをとほ——

32

050

30

二

打てかざさ——

46

084

64

五

花を見——

58

089

70

一

誰にか問は——

63

082

62

二

いざ母み——

66

556

544

二

散りもわきな——

69

093

74

五

行て見——と

71

102

83

一

春やなから——

83

086

77

五

遊から——

96

080

94

三

見てもわたら——

109

123

107

二

ぬるとも折ら——

119

118

100

四

しばしとどめ——

129

684

五

ぬぎやかへさ——

130

132

116

五

いつしか鳴か——

134

118

四

数やまさら——

137

686

148

四

秋や近け——

169

164

五

夏をとどめ——

177

691

五

独や寝な——

231

220

四

いかがせ——

262

246

三

独やねな——

267

219

四

来てみ——

276

574

203

二

いかなら——

294

294

三

年やくれな——

337

354

342

四

ひとりかもね——

349

347

五

つみなら——

392

358

346

三

隠家にせ——

397

594

583

五

うちぞと思は——

405

363

351

五

消えやかへら——

415

387

375

五

消えやわたら——

416

388

376

五

恋渡りな——

420

704

五

消えやかへら——

422

472

五

かれはて——

431

705

一

啼きわたりな——

435

495

483

五

おもひわたら——

443

400

368

五

恋やわたら	恋ひやわたら	恋ひやわたら	恋やわたら	恋やわたら	下にもゆら	朽ちやはてな	みまくちかけ	後もあひみ	恋ひわたりな	来——とたのめて	いかにせ	よそに見——とは	露なら	消えやわたら	消や渡	消えやわたら	恨やはせ	いかが答へ
449	455	454	456	457	468	471	478	481	482	492	494	497	505	506	511	512	518	522
		404	452	403	503	402	450	513	514	490		462	467	466	484	485	470	434
		392	440	391	429	390	438	501	502	478		450	455	454	472	473	458	422
五	五	五	五	五	五	五	五	四	五	四	一	五	三	五	五	五	五	五

穂にや出な	聞き渡りな	宿なら	われひとり寝	遠ざかりな	止まずかよは	夢にもゆか	思ひも出	来——年も	今来——と	いかがたのま	いかがわすれ	かくなら	つねかくし見	あら——かぎりは	照ら——かぎりは	今ぞさかえ	古ずも有な	君は通は	海はあせな
533	541	556	567	569	586	599	602	605	606	607	608	662	670	673	674	676	677	678	680
	384	571	526	723	545	639	636	437	438	726	727	368	370	379	382	740	374	739	674
	372	559	514		533	628	625	425	426		356	364	367	370	370	362	362		663
五	五	三	五	四	五	二	四	一	一	五	五	二	五	五	五	四	五	四	二

さよふけぬ——	つまこひす——	むかし恋ふ——	立ぬ——	らし(止)	こゑのす——は	わがあら——やも	人にいは——やも	色に出——や	色にいで——や	見てこそ行か——	め(三)	哀とやいは——	愛しとやいは——	世をばつくさ——
147	146	14	2		171	680	679	502	430	209		711	711	689
687	161	552	023		690	674	672	397	399	194		620	620	611
	145	540	2			663	661	385	387	178		609	609	600
二	四	五	三		四	五	五	五	五	四		五	四	二

(いひけ——)	四手にぞ有——	み雪ふる——	うき寝す——も	(しげりにけ——)	(返えけ——)	道たどる——	み雪ふる——	雪ぞふる——	み雪ふる——	霰ふる——	氷す——も	時雨ふく——	紅葉散——	嵐ふく——	霧たちく——	霧たたる——	夜はふけぬ——	わかれもす——	(きにけ——)
642	637	624	571	510	393	369	368	363	362	347	338	321	319	317	236	234	230	199	183
655	324	326	725	486	588	335	700	333	344	348	352	293	256	297	251	241	233	187	172
644	312	314		474	577	323		321	332	336	340	280	283	284	236	226	218	171	156
(三)	五	五	五	(二)	(三)	五	五	五	五	五	五	二	二	五	二	五	二	二	(三)

らむ(止・体)

秋の来つ	鹿や待	水まさる	行かへる	あらし立つ	いまはちる	かたみなる	行く	誰ながむ	花のもる	恋しかる	物に見る	香にほふ	とけぬ	若菜つむ	ふりぬ	春や立
190	165	163	127	122	117	112	103	100	68	64	50	31	22	18	9	8
567	689	148	130	683	681	125	077	054	559	081	080	052	032	030	549	548
555		132	114	101		109	57	34	547	61	60	32	11	9	537	536
五	五	二	二	五	五	五	四	二	五	五	五	五	三	五	三	五

ながむ	変る	幾夜へぬ	夜や更けぬ	閉ぢつ	おきまさる	霜やおく	ひとり鳴く	霜や置く	衣うつ	衣うつ	薄くやある	夜はに鳴	虫の鳴	音をや鳴	しのぎ来ぬ	なにほふ	さきか散る	たちやかふ
385	377	358	341	336	328	327	310	306	290	288	256	250	248	241	233	216	208	195
587	349	582	304	353	300	301	282	274	264	261	272	569	221	210	240	197	138	183
576	337	570	292	341	288	289	267	259	249	246	257	557	205	194	225	181	182	167
三	三	五	五	三	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	二	五	五

山路ゆく――	月に寝ぬ――	風のふく――	年のへぬ――	人を待つ――	名のみたつ――	なりやしぬ――	秋か経ぬ――	まどほなる――	霜のおく――	年の経ぬ――	年をへぬ――	年をへぬ――	立ちかへる――	くゆりわぶ――	しるくや有――	身をくだく――	音をやなく――	身をくだく――	暮れて行――
594	560	553	550	538	525	516	510	504	503	492	491	490	483	470	465	448	434	413	403
547	534	481	487	494	417	465	486	468	476	480	515	516	510	406	423	456	436	507	359
535	522	469	475	482	405	453	474	456	464	478	503	504	498	394	411	444	484	495	347
四	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	四	五	五	五	五	五	五

宿直せ――ける	梅花さけ――	り(用・止)	いこそ寝――ね	られ(可能―未)	る	人しる――や	らめ(三)	音のみ鳴――	朽やしぬ――	なりぬ――	いと惚ぶ――	年か経ぬ――	神ぞ知る――	うすくや有――	幾世へぬ――	空に知る――
45	36		566			464	706	702	694	684	659	649	640	632	617	
083	049		525			502	617	603	597	608	369	656	585	730	729	
63	29		513			490	606	592	586	597	357	645	574	572		
五	二		五			五	五	四	三	五	五	五	五	四	五	

る(体)

春加はれ	さけ——山路や	露ぞ残れ——	糸もてぬけ——	すぐせ——宿は	さけ——さかりを	さけ——あたりは	氷れ——霜や	ふれ——白雪	たて——を見れば	住うしといへ——	かがまれ——	よよは籠れ——	あつまれ——	白雪ふれ——	あま雲あへ——	時雨ふれ——てへ	友まどほせ——	咲きてたて——と
131	96	86	40	24	24	23	22	20	7	688	685	666	620	369	368	322	234	47
127	680	100	046	060	060	038	032	550	024	612	609	737	669	335	700	295	241	094
111	94	81	26	40	40	18	11	533	3	601	598	658	323		282	226	75	
四	二	四	二	四	二	四	二	五	二	五	三	四	三	二	二	五	二	四

ふりてつもれ——	引け——駒の	年かつもれ——	降り——しら雪	雪ぞ積れ——	磯辺にたて——	塩ひにたて——	すめ——月かけ	わたせ——橋に	月ぞこほれ——	沢辺にたて——	秋ぞのこれ——	月ぞやどれ——	なれ——わが身は	すめ——月影	雲のかかれ——	道やまどへ——	垣ねにさけ——	春の残れ——
469	387	379	361	360	360	359	346	343	340	314	303	273	247	227	154	144	136	132
458	702	583	340	329	329	327	316	302	317	696	695	573	247	234	153	146	685	562
446		571	328	317	317	315	304	290	305	286	271	561	232	219	137	130		550
二	二	五	五	五	二	二	五	四	五	二	五	五	五	五	二	四	二	五

蚤のともせ 393 二

しづめ 心 四

かきほに咲 二

雷ぞつもれ 五

数ぞこもれ 五

小瓶にさせ 二

君がつくれ 二

磯べに立て 二

れ(已)

雪のふれ ば 五

雪のふれ ば 五

雪のふれ ば 五

雪のふれ ば 五

る

れ(受身・可能・未・用)

風にしら 四

とは ば 二

おどろか ぬる 二

袖にしら ぬ 四

る(受身止) 三

はぐくま 14 552 540

なくに(連語)

(なくに)

旅なら 五

雪なら 五

あら 三

見え 三

松なら 五